

プサン IAU 総会報告

コロナで日本人少なかったです

佐藤 勲

3年に一度開催されるIAU(国際天文学連合)の総会が、8月2~11日に韓国・釜山のBEXCOで開催された。昨年開催されるはずだったものが、コロナの影響で1年延期されたのだが、韓国への観光入国が再開されたのが6月になってからで、私が出席を決断したのは7月になってからだった。入国にはまだビザ(要2週間)と日本出国48時間前以内のPCR検査(検査費用2万円、成田空港当日検査では4万円)、韓国出国72時間前以内のPCR検査(同10万ウォン)が必要なうえ、以前は激安ツアーがあった航空機運賃も高いまま(東京-釜山往復7万円以上)というハードルの高い状況では、オンライン参加が多数で、実際に会場に来る人は少ないだろうということが容易に予想された。案の定、成田発ソウル行の飛行機はほぼ満席だったが、^{インチョン}仁川空港の入国審査では日本人は10人くらいしかいなかった。円安で日本へ観光してきた韓国人が大半だったのだ。

釜山へ行くには、^{インチョン}仁川空港から^{キンポ}金浦空港へ移動しなければならないが、鉄道で30分くらいかかるほどの距離がある。

釜山の地形はリアス式海岸で、街のつくりは香港に似ているが、外国人観光客の少ない釜山では、まだ市内観光ツアーも再開されていなかった。

韓国の国内事情

韓国の通貨ウォンの円とのレートは、1000ウォン=約110円なので、0が一つ多いと思えばよい。そうみると、韓国の物価水準は、日本と同程度である。例えば、自販機で売られている缶ジュースの値段は1000ウォン、バナナが1本1000ウォン、ラーメンの値段は空港の店では高めだが10000ウォン程度である。コンビニでは、レジ袋が100ウォンの有料である。

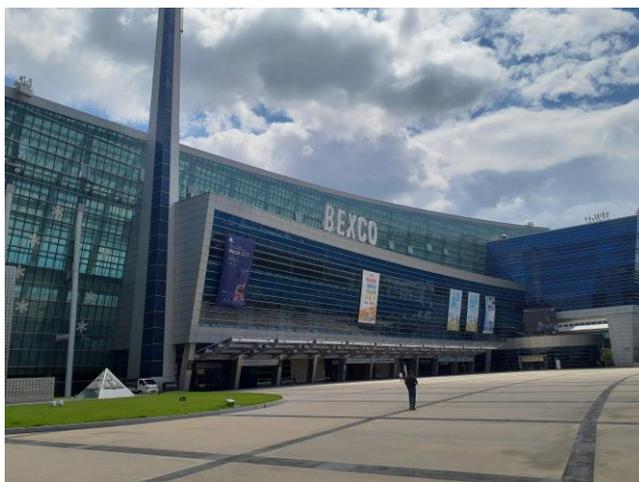
韓国では、1970年代以降漢字教育があまり行われなくなり、若い世代の人はあまり漢字を読み書きできない。最近は外国語としての漢字教育が行われているようだが、街中はハングルだらけでチンプンカンプンだ。しかし、ソウルや釜山の公共交通機関には、英語、中国語、日本語の表示もあるので、なんとか歩けるし、店の人もスマホで通訳してくれたりするので、便利な世の中になったものだと感じた。漢字で書かれた日本や中国系の店の看板を見ると、思わず入りたくなった。泊まったホテルが日本系の東横インなのも幸いだった。

韓国では、自動車は日本と逆の右側通行。ヒョンデとキアの車が多数である。タクシーの運転手に「北京に行ったらタクシーの運転手が英語話せなかった」と言ったら、「ハハハ、中国人は汚いから嫌いだ」と言っていた。

ロッテは、韓国では財閥である。多くの自販機のドリンクや、高島屋をしのぐ大きさの高級デパートやホテルがあった。創業者は在日韓国人である。トランプのマンション(Trump World Centum)もあった。



【釜山駅のレストランのメニュー】



【会場の BEXCO】



【開会式の様子】

日本人参加者が少ない

大会初日の 8 月 2 日夕方、開会式とウェルカムパーティーがあった。開会式の開催された大講堂には 500 人くらいいるのではないかとみられたが、ウェルカムパーティーの参加者を含め、初日の日本人参加者は 5 人くらいしかいなかった(私、石黒正晃、縣秀彦、渡部潤一他)。

コロナに感染して来れなくなった人もいたようだ。また、韓国、インド、アメリカ、ヨーロッパ、南アフリカ、オーストラリアなどからの参加者が多かった一方で、中国や台湾、北朝鮮、ロシアからは参加者が少なかった。このように、日本や共産圏以外からの参加者が意外に多かったのは、2年半もの間コロナで外国へ行けなかったことへの欲求不満が爆発したからだという見方があった。

私が出席した太陽系のセッションは、ソウル大学教授の石黒氏が座長を務めていて、小惑星探査機「はやぶさ2」や「オサイリスレックス」、小惑星の大規模観測の成果を中心に多くの発表があった。石黒氏の研究室の学生は、みんな英語が堪能で驚いたが、その理由は石黒氏が英語で授業をしているからとのことであった。逆に石黒氏は長く韓国にいるのに未だに韓国語が話せないようで、「お前はいったい何年韓国にいるんだ」と言ってやった。

外国人への発音の聞き取り調査

IAU 総会出席の目的は、世界の様々な国からやってくる外国人から、外国語の名前の発音の聞き取り調査をすることである。日本では、外国語に詳しくないアマチュアの人が適当に天文雑誌に書いた間違った呼び方が氾濫しているので、それを是正するための調査である。このような本格的な調査をしているのは、世界でも私だけのようだ。

今回も暇そうにしている外国人を見つけては声をかけ、多くの人からさまざまな言語での発音を聞き取ることができた。ナイジェリア、エクアドル、グアテマラ、コロンビア、タジキスタン、エストニア、タイなどの中小国からの参加者に会えたのは、貴重な機会であった。

これまでの調査で、特に彗星の名前については、ほぼ調査が完了している。その他の有名な人名などについても、多くの意外な結果が得られたので一部を紹介しよう。

| | | |
|----------------------------|---------------|----------------|
| Peters 彗星 (ドイツ語) | ○ピータース彗星 | ×ペータース彗星 |
| Petersen 彗星 (ドイツ語) | ○ピーターゼン彗星 | ×ペテルセン彗星 |
| Pechüle 彗星 (ドイツ語) | ○ペチューレ彗星 | ×ペクーレ彗星 |
| Klinkenberg (オランダ語) | ○クリンケンベルフ彗星 | ×クリンケンベルグ彗星 |
| Wargentin 彗星 (スウェーデン語) | ○バルゲンティーン彗星 | ×ワルゲンティン彗星 |
| Wirtanen 彗星 (フィンランド語) | ○ウィルタネン彗星 | ×ワータネン彗星 |
| Peltier 彗星 (英語) | ○ペルティエ彗星 | ×ペルチャー彗星 |
| Holvercem 彗星 (ブラジル語) | ○ホルボルセン彗星 | ×ホルボルセム彗星 |
| Erasmus 彗星 (アフリカンス語) | ○エラスムス彗星 | ×エラスマス彗星 |
| Herbig-Haro 天体 (英語, スペイン語) | ○ハービグ・ハロ天体 | ×ハービグ・ハロー天体 |
| Allende 隕石 (メキシコ語) | ○アジェンデ隕石 | ×アエンデ隕石 |
| Stanley Kublic (英語) | ○スタンリー・クーブリック | ×スタンレー・キューブリック |
| George Takei (英語) | ○ジョージ・タカイ | ×ジョージ・タケイ |
| Aaronson (英語) | ○エアロンソン | ×アーロンソン |
| de Vaucouleurs (フランス語) | ○ドゥボークレア | ×ドボークルール |
| Lyytinen (フィンランド語) | ○ルーティネン | ×ライチネン |
| Guido (イタリア語) | ○グイドー | ×ギドー |
| Gonzarez (スペイン語) | ○ゴンサレス | ×ゴンザレス |

これまでの調査で証言が分かれた名前については、複数回の発音調査を心掛けているので、結果の精度は高い。

次回の IAU 総会は、2024 年にメキシコで開催される予定であるが、その前に 2023 年にアメリカで ACM(小惑星・彗星・流星会議)があるので、それに出席して、まだ大量の未調査が残っている英語の小惑星名の発音調査を一気に片づけたいところである。

